

地域国際化推進アドバイザーの派遣

自治体及び地域国際化協会等が地域の多文化共生や国際協力を推進するために実施する研修会や講演会に地域国際化推進アドバイザーを派遣しています。令和5年度は119件、アドバイザーを派遣しました。そのうちオンライン派遣は10件でした。

【派遣事例1】

- ・テーマ：災害時の外国人支援（令和5年7月）
- ・派遣アドバイザー：勝 千恵子 氏（(公財)名古屋国際センター）
- ・派遣先：蒲郡市（現地派遣）

① 目的

市内の自治会において外国人市民との関わりが増えているため、地域のリーダーである総代（自治会長）に外国人市民への災害対応等の知識を増やしてもらう。

② 内容

- ・国や市の外国人の現状、地域での外国人市民への対応
- ・災害時における外国人支援の課題
- ・災害時多言語表示シールをはじめとした災害時に役立つツールの紹介

③ 成果

総代39名が参加した。参加者からは、「普段からの外国人市民とコミュニケーションを取っていくことが重要であり、その手段として自治会への加入の促進を図りたい」、「外国人と接する時の心構えを改めて学ぶことができた」などの感想があがった。

【派遣事例2】

- ・テーマ：やさしい日本語（令和5年12月）
- ・派遣アドバイザー：崔 英善 氏（国学院大学）
- ・派遣先：NPO 法人流山市国際交流協会（現地派遣）

① 目的

外国人、高齢者、障害のある方でも理解しやすい「やさしい日本語の普及」を目的として「外国人との接し方講座」を市民向けに開催する。

② 内容

- ・やさしい日本語の書き方・話し方
- ・「やさしい日本語」を用いた対話演習

③ 成果

外国人住民も含めた32名が参加し、やさしい日本語の習得に積極的な様子が見られた。参加者のアンケートでは「外国人の立場になって考えるよい機会となった」、「身近な外国人にもっと積極的に声をかけて、日ごろから実践を重ねるように努めたい」などの意見が見られた。

【派遣事例3】

- ・テーマ：外国人相談窓口運営への助言（令和6年2月）
- ・派遣アドバイザー：村松 紀子 氏（愛知県立大学外国語学部）
- ・派遣先：（公財）長崎県国際交流協会（現地派遣）

① 目的

外国人相談窓口の対応の一層の質の向上に資するため、相談対応に従事している職員等に対し、相談対応に際し必要となる構えや姿勢、知識等について学ぶ機会を提供する。

② 内容

- ・外国人相談事業に求められる規則や倫理
- ・相談を受ける際の心構え、傾聴の技法
- ・関連機関との連携・役割分担、実効性のあるネットワークの作り方

③ 成果

協会等の職員 12 名が参加し、相談窓口をよりよく運営していくための知識や心構え等を学習した。講師の体験や豊かな専門知識を基とした体系的な講義により、理解が一層深まるとともに、現状の改善点の指摘をもらうことで、相談窓口の運営改善の契機となった。

【派遣事例4】

- ・テーマ：多文化共生概論・技能実習制度（令和6年3月）
- ・派遣アドバイザー：阿部 一郎 氏（多文化共生コーディネーター）
- ・派遣先：土佐市（現地派遣）

① 目的

技能実習生と特定技能外国人の急増を踏まえ、技能実習生と特定技能外国人を対象とした生活と防災における実態調査の結果をシンポジウムで共有するとともに、他の地域の事例を参照しながら、市や地方における多文化共生について議論する。

② 内容

- ・他地域の事例紹介
- ・共生社会へ向けた手法の提案を含めたレクチャー
- ・パネルディスカッションへの登壇

③ 成果

シンポジウムには市民 66 名が参加した。アドバイザーを含むゲストによるさまざまな意見や解説、そして県内在住のインドネシア人コミュニティの人たちを交えたパネルディスカッションを通して、市にとって新たな視座がもたらされた。会場の反応もよく、アンケートでは「ワクワクした」といった、今後の展開に期待する声が多く挙がった。

<令和5年度 地域国際化推進アドバイザー派遣実績（件数）>

業務区分 派遣先	多文化共生			その他	合計
	やさしい日本語	災害時の 外国人支援	小計		
都道府県	1	5	6	1	7
市区町村	35	17	52	14	66
地域国際化協会	3	12	15	10	25
市町村国際交流協会	6	6	12	9	21
合計	45(1)	40(2)	85(3)	34(7)	119(10)

※その他は通訳・翻訳、ボランティア育成など。また、カッコ内はオンライン派遣実績の内数。